

2019年12月21日

がん治療の実際を知ろう！

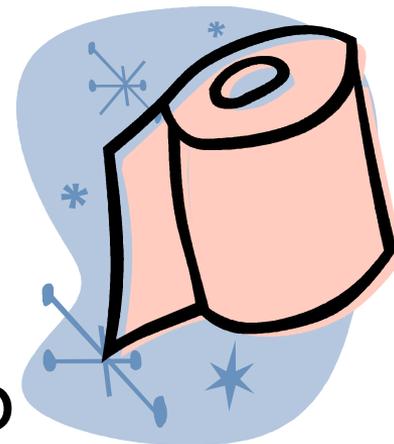
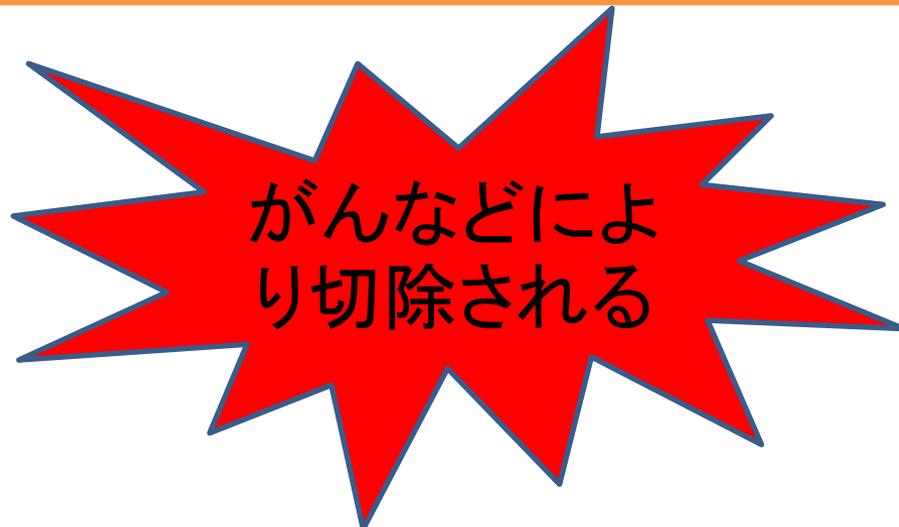
第1回大腸がん

目で見えるストーマの実際

愛知県がんセンター
皮膚・排泄ケア認定看護師
佐々木照美

排泄

便⇒直腸に貯留し肛門から排便する
尿⇒膀胱に貯留し尿道口から排尿する



便や尿の出口を腹部に造る



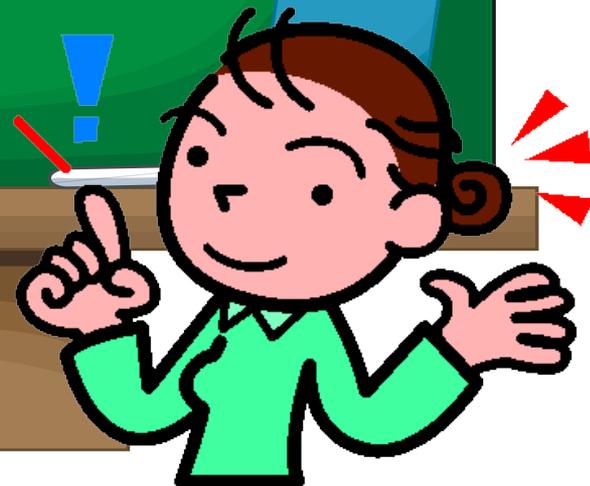
人工肛門
人工膀胱

総称して「**ストーマ**」
という

人工肛門



人工的に何かを付けて肛門
の代用を造る



ストーマとは

ストーマ(stoma)の語源はギリシャ語で「口」を意味する



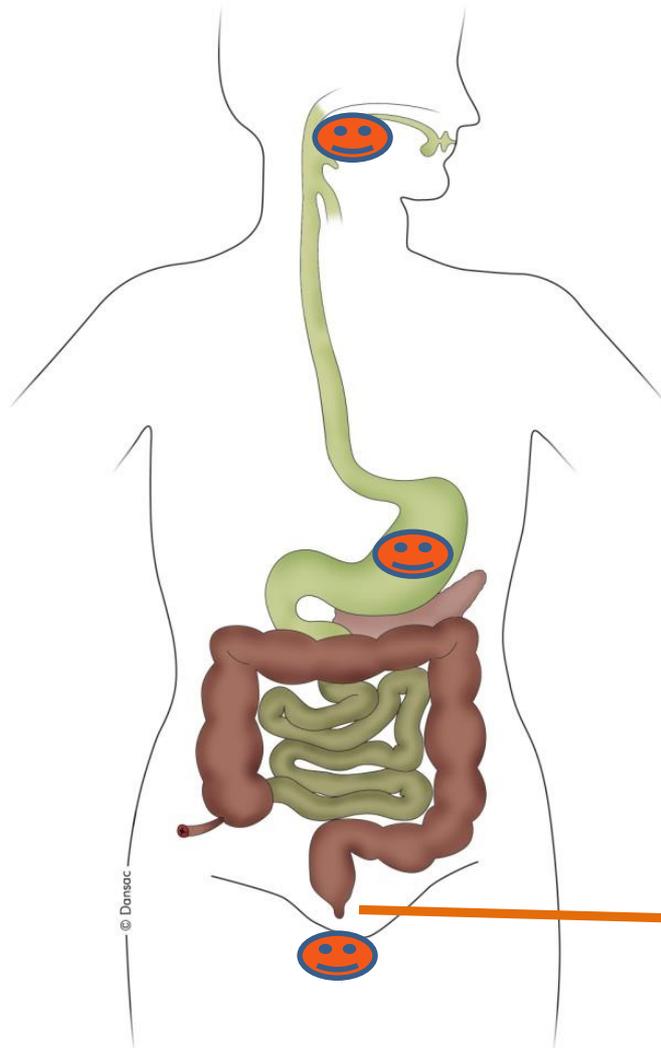
「消化管や尿路を人為的に体外に誘導して造設した開放孔、
広義にはその他に生じた開放孔も含む」

一般的には人工肛門・腸瘻・尿瘻をさす

ストーマ造設を イメージしてみよう！



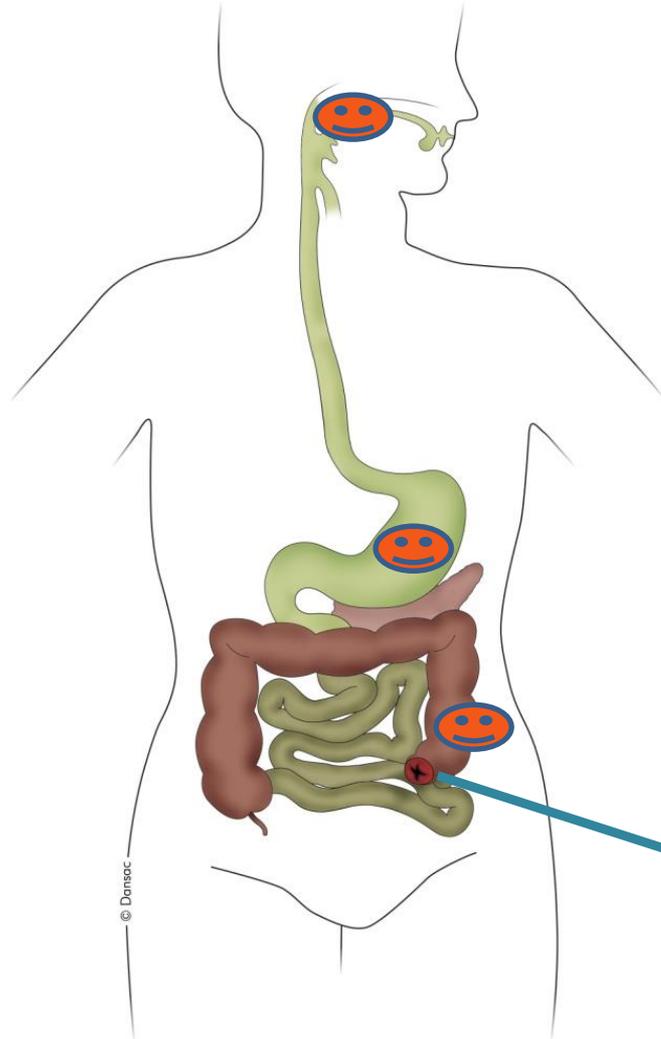
肛門からの排泄



- 便がしたいと感じる
- 状況で排便を我慢できる、貯められる
- トイレに行って排泄できる

肛門

ストーマからの排泄



- 便意の喪失
- 自分の意思とは関係なく不定期に排泄される
- 腹壁(ストーマ)から排泄される

ストーマ

消化管ストーマの種類

造設部位による分類

- ・結腸ストーマ
（コロストーマ）
- ・回腸ストーマ
（イレオストーマ）

開口部の数による分類

- ・単孔式ストーマ
- ・双孔式ストーマ

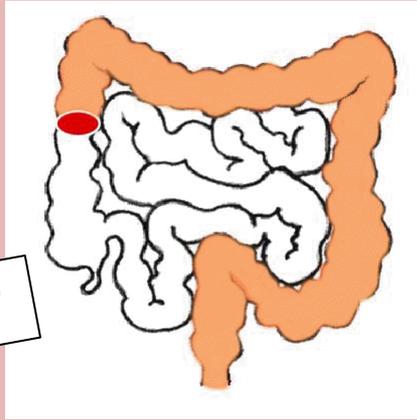
保有期間による分類

- ・永久的ストーマ
- ・一時的ストーマ

ストーマの種類

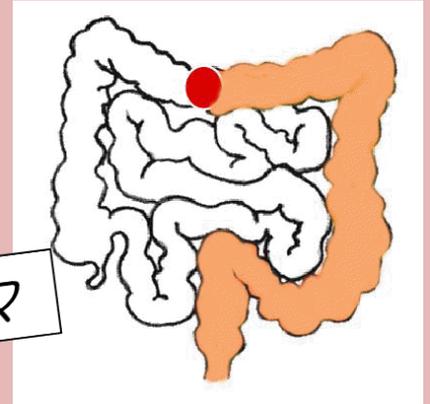
結腸ストーマ(コロストーマ)

造設部位: 右上腹部
排泄物: 液状・粥状



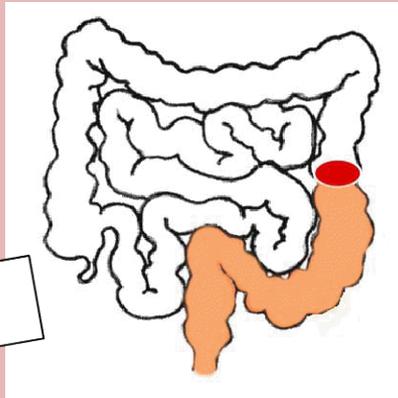
上行結腸ストーマ

造設部位: 左右上腹部
排泄物: 粥状・軟便



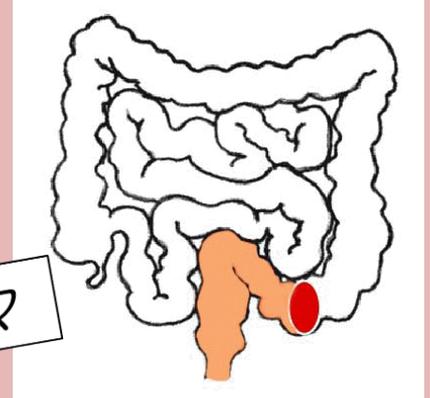
横行結腸ストーマ

造設部位: 左下腹部
排泄物: 軟便・固形便



下行結腸ストーマ

造設部位: 左下腹部
排泄物: ほぼ固形便

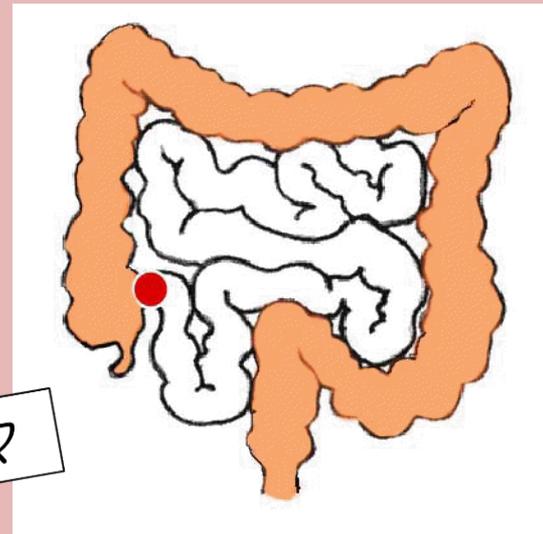


S状結腸ストーマ

ストーマの種類

回腸ストーマ(イレオストーマ)

腹壁に穴をあけて小腸の一部を体外に引き出し、右下腹部に作られる
排泄物: 液状



回腸ストーマ

当院では、直腸がん手術で一時的な人工肛門造設が必要となる場合に回腸ストーマを造設します。

回腸ストーマを保有した状態で化学療法を受けている患者さんが多くいます。

ストーマ造設部位と便の性状

回腸
ストーマ

上行結腸
ストーマ

横行結腸
ストーマ

下行結腸
ストーマ

S状結腸
ストーマ

性状

水様

固形

量

多い



少ない

PH

高い

低い

消化酵素
活性

高い

低い



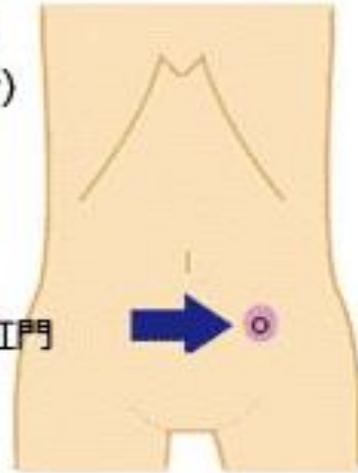
PHが高いほど
スキントラブルを
起こしやすい



単孔式・双孔式って何？

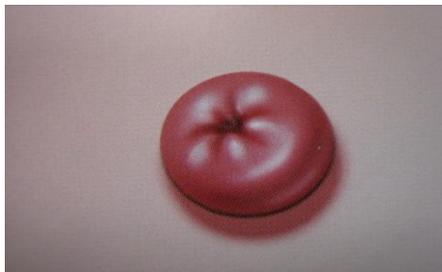
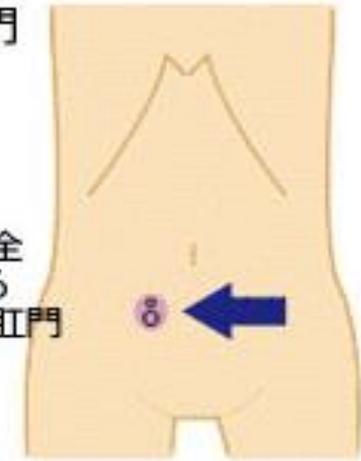
単孔式人工肛門
(S状結腸の場合)

直腸切断術の際
などに作られる
代表的な永久人工肛門

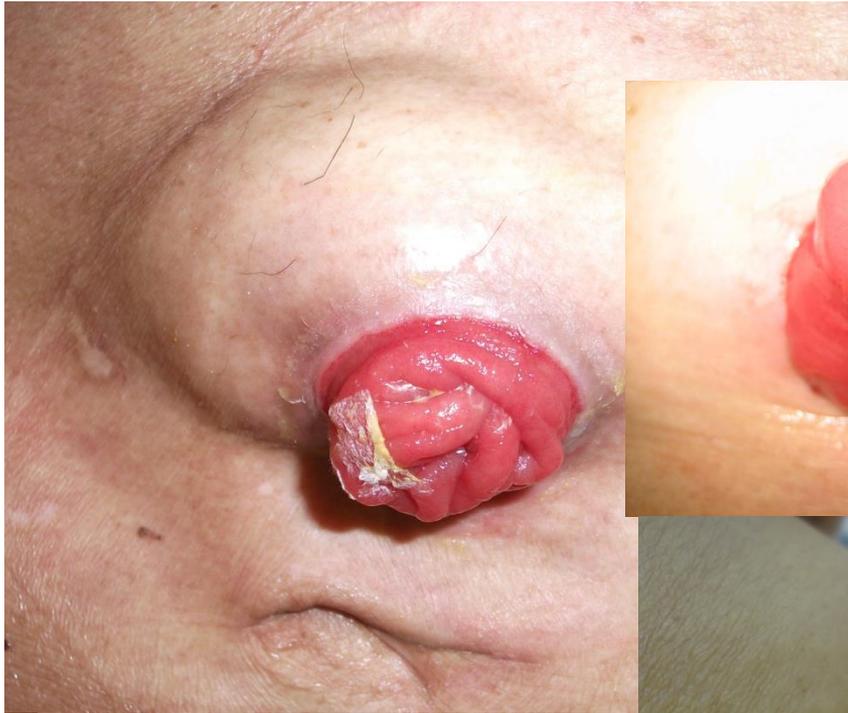


双孔式人工肛門
(回腸の場合)

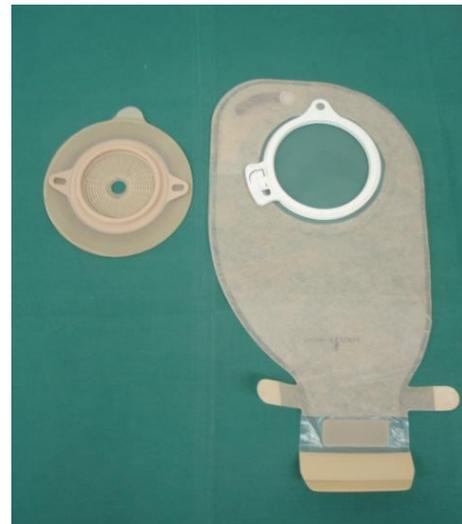
緊急手術や縫合不全
の際などに作られる
代表的な一時人工肛門



ストーマ



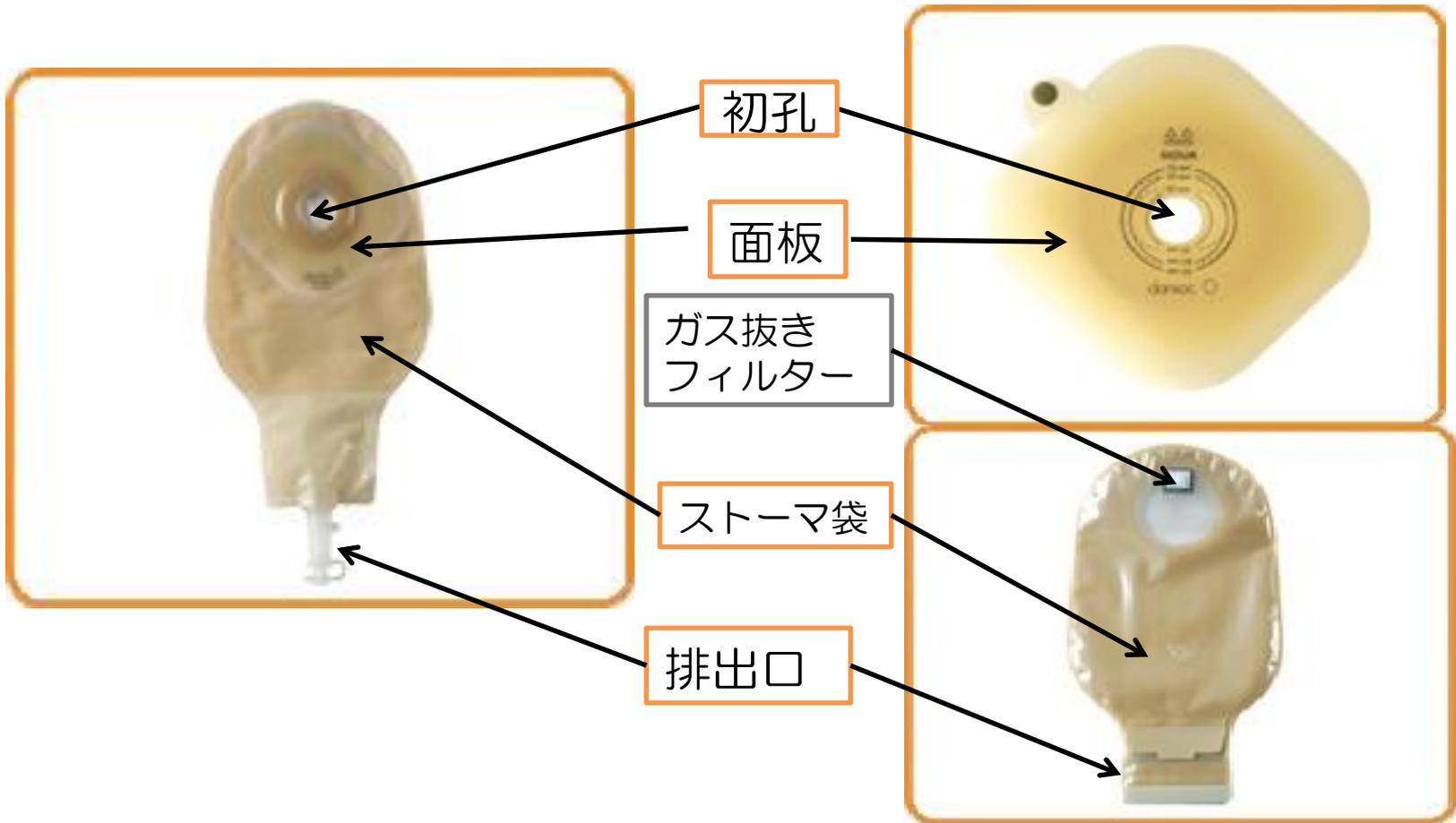
ストーマ装具



スチーム装具

単品系：面板とスチーム袋が
一体となったもの

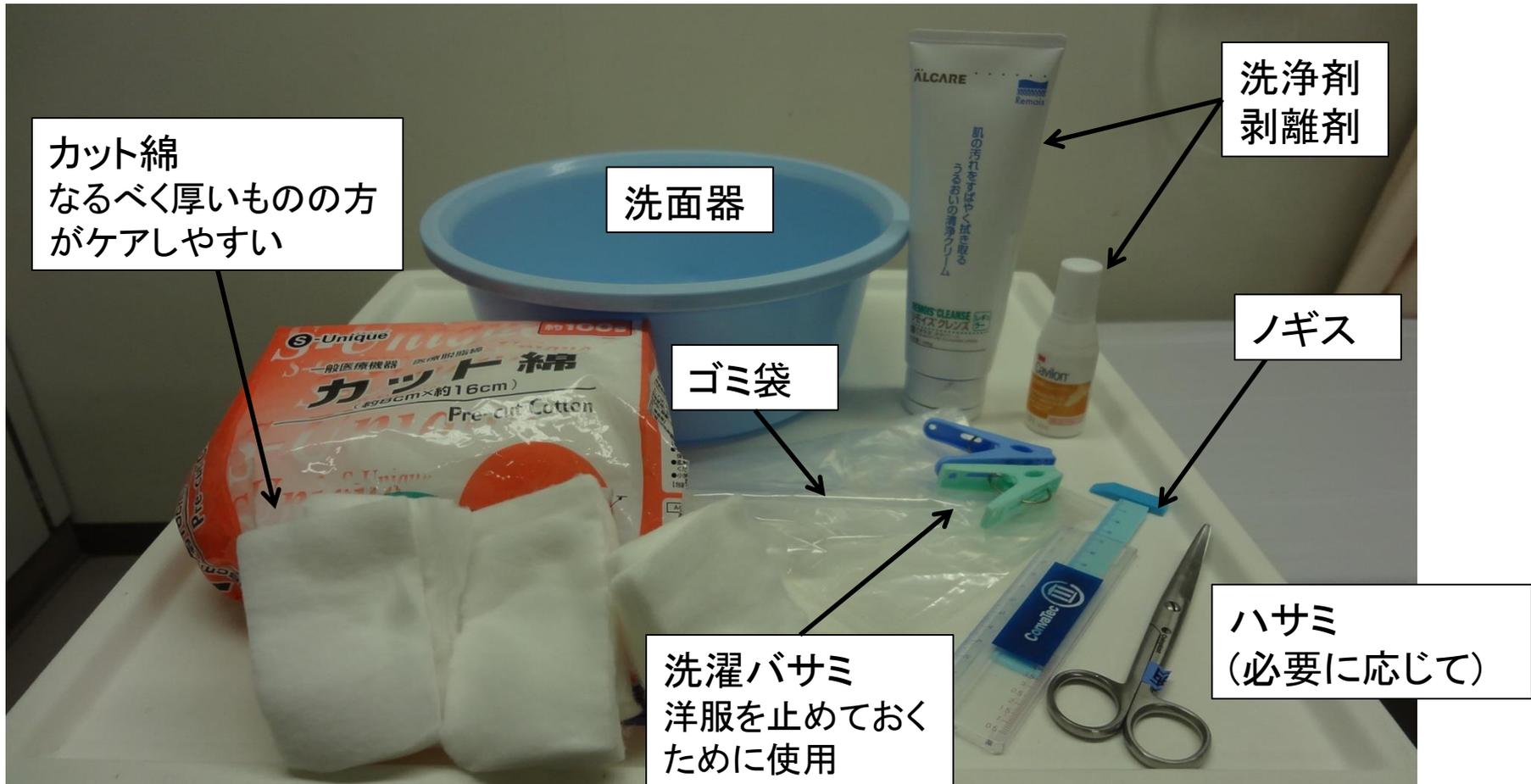
二品系：面板とスチーム袋が分
離できるもの



ストーマ装具交換の手順



必要物品



この他に新しい装具・アクセサリー(必要に応じて)を準備する

当院で使用しているケア用品

剥離剤

3M皮膚用リムーバー



アルコールフリー

洗浄剤

リモイスクレンズ



弱酸性

不意の排泄があっても汚染しないように配慮

- 🍇 腹部にビニールを貼る、身体の下にビニールシートを敷く、タオルをパンツなどにはさむなど。



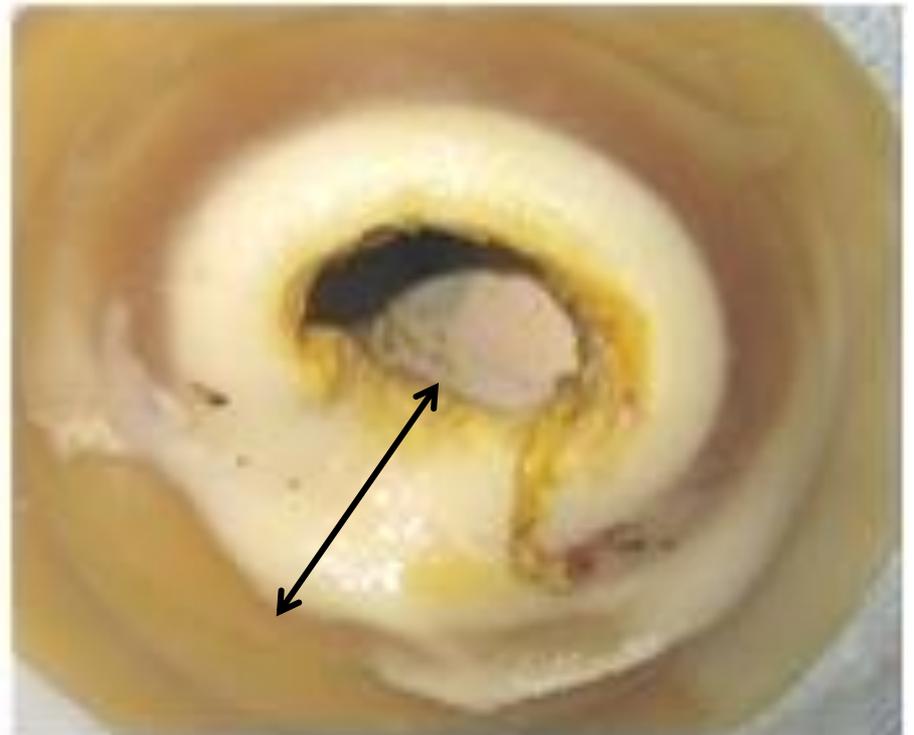
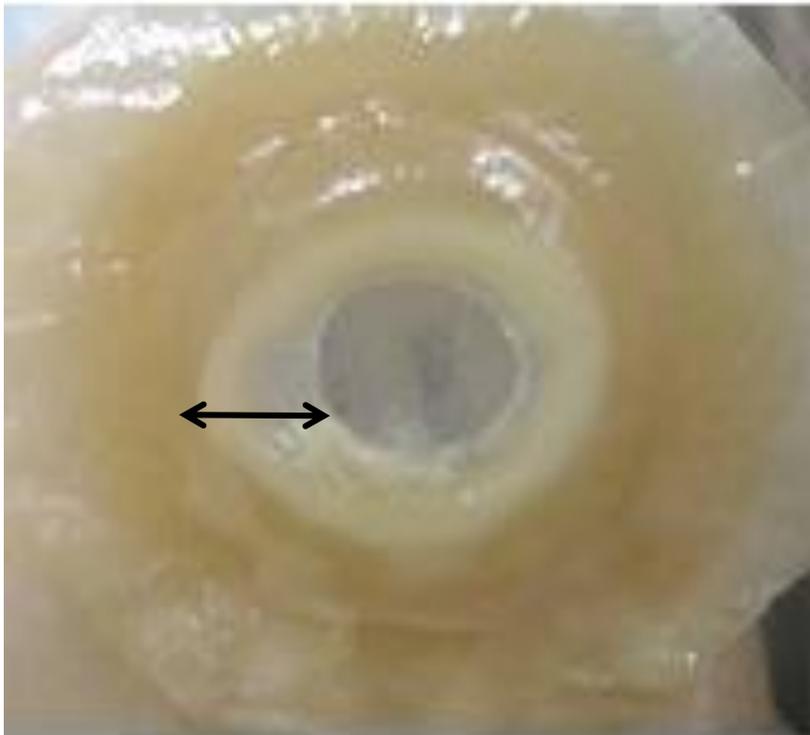
装具を愛護的にはがす

- 🍇 剥離剤を使用し、皮膚を指で軽く押さえるようにしながらはがしていく。



はがした皮膚保護剤の裏側を観察

- はがした皮膚保護剤の裏側を見て、どの部位がどの程度溶解・膨潤しているか観察する。



ストーマ周囲皮膚の洗浄

- ❖ 面板除去後、まずはストーマ粘膜皮膚接合部に付着した粘液や便をカット綿でふき取ります。
- ❖ リモイスクレンズを使用し、皮膚を洗浄していきます。
- ❖ リモイスクレンズは塗布後しばらく時間を置くことで汚れを浮き上がらせてくれます。



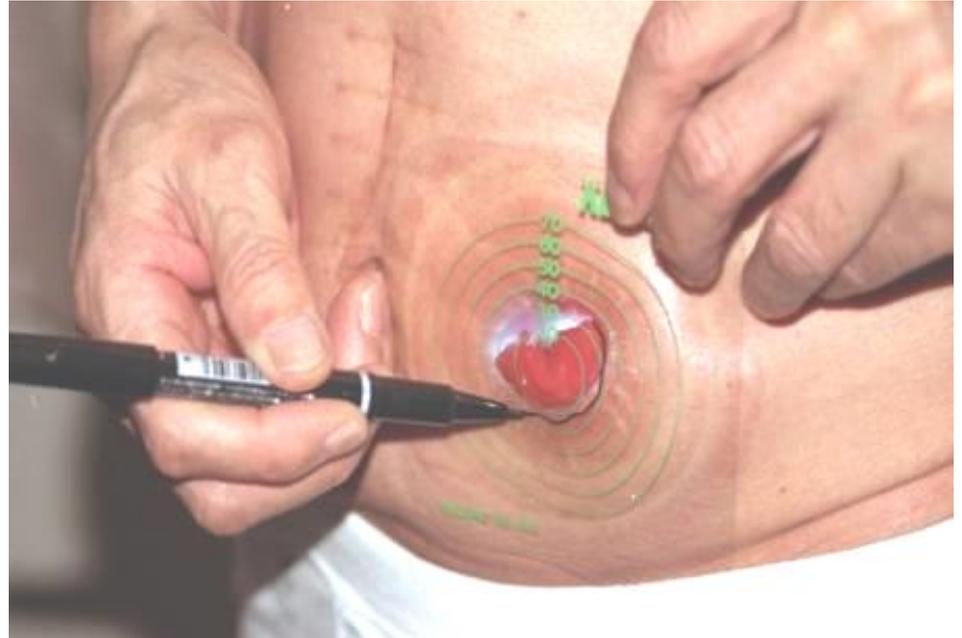
ストーマと周囲皮膚の観察、サイズの計測

- 🍇 ストーマ、粘膜皮膚接合部、周囲皮膚の観察を行う。
- 🍇 ストーマのサイズを計測する。



ストーマサイズに合わせて型をとる

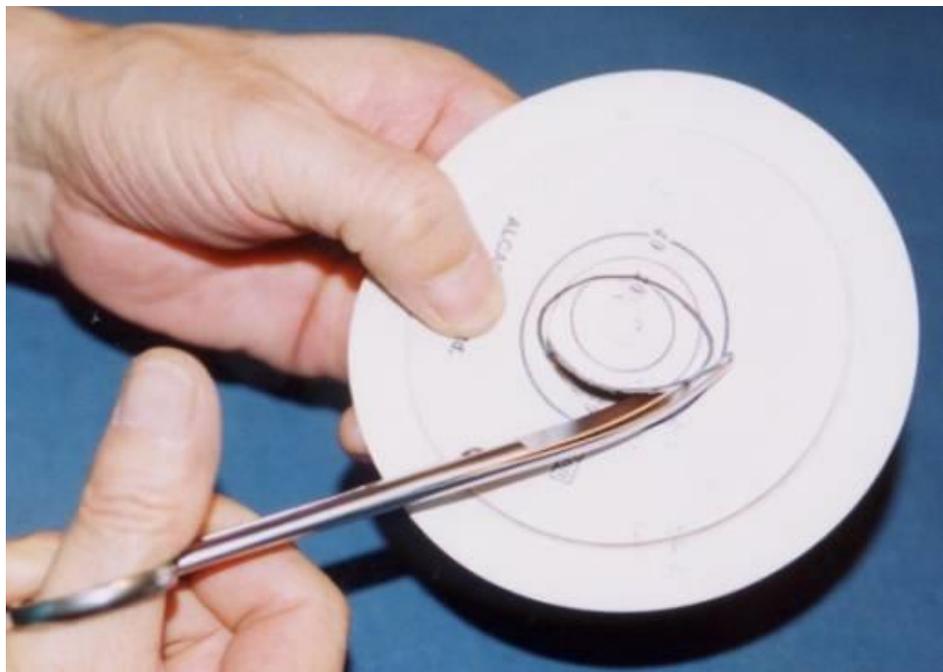
- 🍇 正円形の場合はゲージを使用するとよい。
- 🍇 楕円形などの場合は、透明な型紙などでストーマの形状を書き写す。



型紙から面板に書き写し、カットする

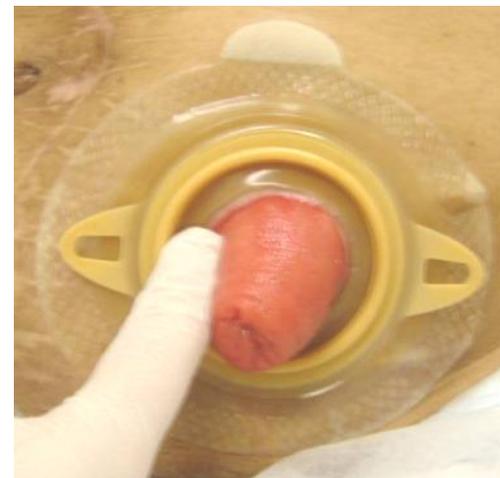
- ❖ 型紙から面板に書き写し、カットする。
- ❖ ストーマに浮腫が見られる場合、ストーマ粘膜を損傷しやすいため、面板をストーマサイズより2～3mmほど大きくカットする。

手で穴を広げる装具もある！



装具を装着

- 🍇 ストーマ周囲皮膚が濡れていないかどうか確認する。
- 🍇 面板の剥離紙をはがし、腹部のしわを伸ばして装具を貼る。
- 🍇 ストーマ周囲を軽く押さえ、皮膚に密着させる。
- 🍇 二品系装具の場合は、採便・採尿袋を嵌合させる。



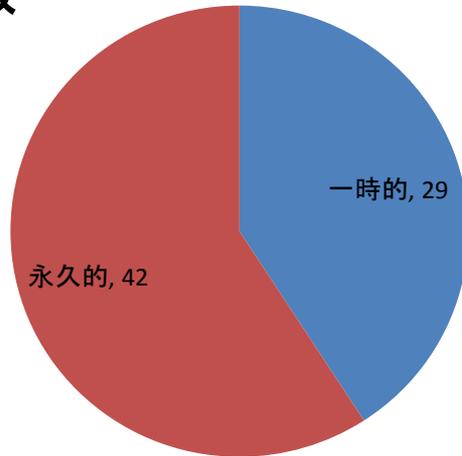
オストメイトが利用できる社会保障制度

| 社会保障制度の種類 | 支援内容 | 対象 | |
|---------------|---------------------------|-----|-----|
| | | 永久 | 一時 |
| 身体障害者福祉法 | ぼうこう又は直腸の機能障害者としてのさまざまな支援 | ○ | × |
| 障害者自立支援法 | 日常生活用具の支援 | ○ | × |
| ストーマ装具費の医療費控除 | 税金の還付 | ○ | ○ |
| 障害年金 | 年金給付 | ○ | × |
| 難治性特定疾患 | 医療費負担軽減 | △※ | △※ |
| 介護保険 | 排泄管理に対する支援 | △※※ | △※※ |
| 社会適応訓練 | ストーマ保有者講習会など | ○ | × |

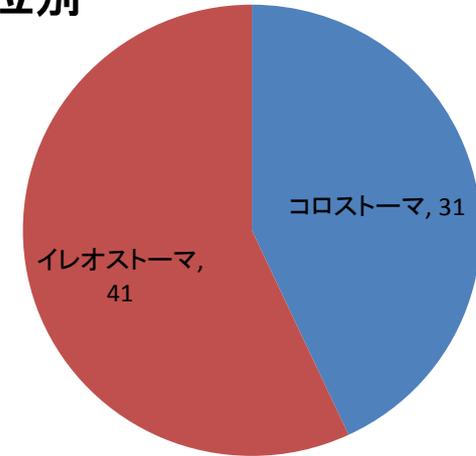
△※: 潰瘍性大腸炎、クローン病などの特定疾患を保有している者
 △※※: 65歳以上あるいはがん終末期患者で看護が必要となる者

当院のストーマ造設状況 (2019年4月～10月)

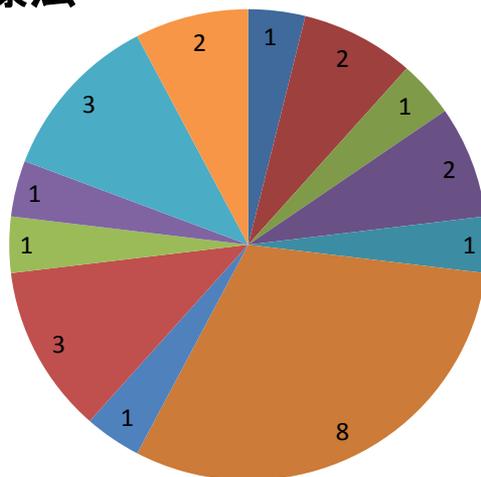
造設件数



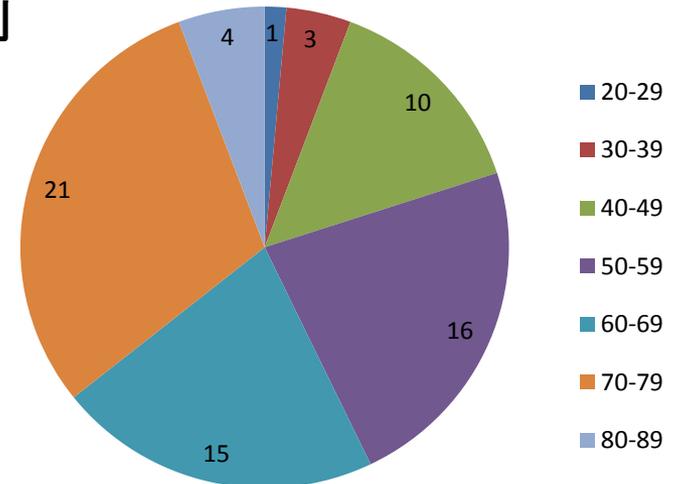
造設部位別



化学療法



年代別



- AG
- FOLFOX
- FOLFOX+BV
- FOLFOX+Pmab
- FOLFIRI+BV
- XELOX
- XELOX+BV
- XELODA
- CPT-11
- PTX
- NIVO
- 不明

- 20-29
- 30-39
- 40-49
- 50-59
- 60-69
- 70-79
- 80-89

化学療法中のケア

化学療法の目的



1. がんを完全に治すことを目指す根治的化学療法
2. 再発や転移を防ぐ目的に加えて、がんを縮小させ手術が困難な進行がんを手術可能にする術前化学療法
3. 放射線など局所治療と併用し治療効果を向上させることを目的とした放射線併用化学療法
4. 進行がんの再発転移予防を目的とした術後の補助化学療法
5. がんの進行を遅らせ生存期間を延長させる延命のためや、がんにより起こる苦痛症状を緩和しQOLの維持や向上を目的とした症状緩和

ストーマ管理に影響を及ぼす副作用

- 下痢・便秘
- 末梢神経障害
 - ⇒手指の感覚障害で装具交換に支障をきたす
- 消化管穿孔
 - ⇒重篤な副作用、生命の危機
- 皮膚障害(皮膚乾燥・ざ瘡様皮疹)
 - ⇒装具貼付部位の安定性の低下
- 手足症候群
 - ⇒手指の荒れで装具交換困難をきたす



曝露対策

- 抗がん剤は細胞毒性があり、医療者や家族などの日々の健康に影響を及ぼす可能性のある危険な薬剤である。
- 在宅における曝露の機会は、
 - ⇒患者の体液や排泄物の取り扱い
 - ⇒リネン類の取り扱い など



排泄物の取扱いは抗がん剤終了後
48時間まで曝露予防対策を実行する

れ

ストーマ装具を交換する場合

- マスクとプラスチック手袋を装着する
- ストーマ装具（消化管用・尿路用ストーマ袋）は使い捨てにする
- 廃棄物は二重にビニール袋に入れ内容物が漏れ出ないように厳重に縛り、一般ごみで処理する
- 尿路ストーマの夜間用畜尿袋は、抗がん剤投与後48時間以降に破棄する
- すべての交換が終了した後は、石鹼と流水で必ず手洗いを
する



トイレで排泄や排泄処理をする場合

- 洋式便器で排泄する場合は、立位ではなく座位で静かに排泄する
- 洋式便器に排泄物を廃棄する場合は、排泄物が飛び跳ねないように排泄する
- トイレ内で排泄物が飛び散ったり、こぼれた場合は、トイレットペーパーで拭き取る
- トイレ使用後は必ず手洗いをする



装具交換の時期

- 治療開始の前日もしくは当日の抗がん剤投与前に行う
- 排泄物の漏れなどトラブルがない限り治療開始から48時間以内の装具交換はしない
- 交換は3日から4日目以降に設定する



ストーマ粘膜への影響

30歳代男性

疾患名 直腸がん

手術 腹会陰式直腸切断術 stageⅢB

経過 術後補助化学療法(XELOX)

肺転移ありSIRB(TS-1,CPT-11,BV)



SIRB6コース目にストーマ粘膜色調
に変化あり

- BVによる血流障害？
- CPT-11による腸管浮腫？
- 主治医に報告し、BVは中止

ストーマ粘膜への影響



- ストーマ外来の定期受診
- 面板ホールカットの調整, 粉状皮膚保護剤の使用
- 自宅でのストーマ観察事項、連絡方法再確認
- BV行えないことによる患者・家族の不安な思い傾聴
- 主治医、診療科看護師、化学療法看護認定看護師等との情報共有

ストーマ外来

- 術前ケア(ストーマの話)
- 退院後の定期検診
- 正しい装具の交換方法
- ストーマのトラブルやストーマ周囲のスキントラブルの解決
- 体型の変化や、生活の変化に応じたケア
- 新しい装具の情報提供
- 排尿障害や性機能障害の対処法
- 生活指導
- 社会保障の手続き
- 患者会の紹介

問題がなくても、定期的な受診をおススメします。

